

2024年8月22日発行 第660号



\*\* 船井メールクラブ \*\*

<http://www.funai-mailclub.com>



## 東京都知事選挙のご報告とお礼、これからについて



今回の執筆者：内海 聡（うつみ さとる）さん（Tokyo DD clinic 院長／NPO 法人薬害研究センター理事長／政治連盟「市民がつくる政治の会」代表）



皆様あらためましてこんにちは。

私は東京の御徒町にある Tokyo DD Clinic というクスリをやめるクリニック、クスリを使わないクリニックというのをやっている内海聡（ウツミサトル）と申します。クリニックだけでなく NPO 法人薬害研究センターを運営し、いろんところで講演をしたり著書を出版したりしています。興味のある方は私の書いた著書などを調べていただくとよいでしょう。また私は SNS や youtube でも有名だそうで、世界一嫌われている医者と自称しております（笑）。

今回は 2024 年の東京都知事選のご報告とお礼を配信させていただこうと思います。

さて、私はこの数年間、2025 年の日本はなくなると言い続け、2023 年に「2025 年日本はなくなる」（廣済堂出版 <https://amzn.to/3Xcuu5I>）という本を書きました。その内容や東京が売られていく、我々の人権や命までも脅かされていくことを中心の選挙運動させていただきました。

2025 年の日本滅亡記念大感謝祭である大阪万博があり、衆議院と参議院の選挙がある予定となっています。東京は様々な課題がありましたが、外資企業や一部の投資家、経団連や甘い汁を吸う政治家、メディアによる横領や略奪をまずはテーマにあげさせていただきました。また第二のテーマとして移民政策をあげさせていただきました。

東京メトロの民営化という建前での株式売却、2025 年太陽光パネルを義務化（都知事がズブズブの中国系パネル在庫処分）、新型コロナ関連の経営破綻、教育の現場の崩壊（不登校やいじめ数が過去最高）、神宮のいちよう並木問題伐採や GLP 昭島問題、豊洲や築地の問題、PPP に伴う水道だけでなく下水道の民営化、公営住宅や大学も外資資本のものとなっていくこと、外国企業が入るということは日本人や庶民のためには実はならず、より奴隷

化が進み我々はより貪られること、そうやってこの数十年貪られ続けてきたことを提言しました。

我々の税金や保険料は貧困層や中小企業、シングルマザーや学生に配分される必要があることを提案しました。

移民政策は日本全体の問題でもあります。ヨーロッパでは移民を推進した国は犯罪率が増加するなど様々な問題が起きたため、保守的な国や保守的な政党は移民をストップする方向に動いています。ご存知のように 2023 年の春から外国人労働者が激増することとなりましたが、私は外国人犯罪者は国外退去を実行するなり、難民受け入れについても厳しくすること、見込み入国などは認めないなど国内や日本人を守ることを優先すべきと考えています。外国人参政権は反対の立場です。

またワクチンや新型コロナの対応について、東京都は外資系製薬会社ファイザーと提携を結んでいますが、ファイザーは過去に最大級の薬害や訴訟を起こしてきたグローバル犯罪企業です。まさにヤクザとつるめばいいという政治家の根性がにじみ出ていますが、この提携については大きく見直す必要があると提案しました。

またどのような提携を結びどんな条件だったのか、利益相反はないのか情報公開をする必要がありました。さらに東京都は男の子に子宮頸がんワクチンを打つことも進めており、その筆頭が中野区であり、このような政策の見直し、世界の情報の流れを読み解くことを提案しました。

総括すると、日本政府や東京都や都知事がやっているのは、いっさい東京都民や東京の国内企業を考えない政治ということです。外資系企業や外国の犬に成り下がり、政治屋としてカネと利権以外考えていません。東京は日本の首都であり、本来政治はその国の国民の生活や権利を守るように動く必要がありました。予算はあるのです。だってその予算を外資や外国に誘導しているのだから、矛先を都民に替えればよいことです。残念ながら日本は外資による土地買収が本格的に始まってからすでに 15 年、これも都民や国民の無関心が招いた結果かもしれません。

そんな中での東京都知事選、ご支援いただいた方もボランティアで入っていただいた方も、たくさんのご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

メディアでは一切というか、徹底的に扱われはしませんでした。最終的な結果が発表され 121715 票の応援をいただくことができました。(※FMC 編集部注：立候補者 56 人中、得票数 6 位)

力及ばずでしたが皆さんの支援、応援に感謝いたします。これを糧に次の行動に向かいた

と思っています。国政を考えて動いていきたいと思っています。

非常にたくさんの方に街頭演説に集まっていただきました。メディアはもちろん全く無視し、国会前の一万人規模の街頭演説でもどこも来てはいませんでした。ただこのことはもちろん予想済みです。私はこれからも扱わないメディアと徹底的に戦っていきます。外国企業、投資家、経団連、移民政策、癒着政治家、メディアには一ミリも忖度するつもりはありません。これらの国民における同調の動きは、大きくなることはあっても小さくなることはないでしょう。

今回は56人の立候補者がいました。しかしほとんどの場面で街宣している様子を見かけませんでした。

**(※この続きは、船井メールクラブ会員様専用サイトでお読みいただけます。)**

《今回の執筆者：内海 聡さんのプロフィール》

●内海 聡（うつみ さとる）●

1974年兵庫県生まれ。

筑波大学医学専門学群卒業。

内科医として東京女子医科大附属東洋医学研究所、東京警察病院、牛久愛和総合病院勤務を経て、牛久東洋医学クリニックを開業。

2013年断薬を主軸としたTokyo DD Clinicを東京台東区にて設立。

執筆活動も精力的に行っており、精神医学の本質を暴いた「精神科は今日も、やりたい放題」がベストセラーに。医学の正体や、社会構造、健康になるための食事法、波動量子学にいたるまで著作は多数、数十冊に及ぶ。

Face Bookのフォロワー数は日本第6位。

2020年現在 Tokyo DD Clinic 院長、NPO法人薬害研究センター理事、(株)日本再生プロジェクトで病気の根本治療のための合宿を主宰、通販サイト‘うつみんのセレクトショップ’を運営、また (株)創想で福祉事業を、‘ひまわりチャイルドアカデミー’で保育にかかわる事業を展開、運営している。

また最近は、多くのクライアントを診てきた見地から、独自の治療法『内海式』を提唱し、『内海式根本治療法認定セラピスト養成講座』を開講。